

社会正義を志向するライフ・キャリア教育の実践と意義の検討

プリズン・サークル 上映会



(C)2019 Kaori Sakagami

日時：2025年1月11日（土）13:00-16:00 開場12:30

会場：成城大学 007教室（7号館4階） 東京都世田谷区成城6-1-20

対象：多様性を尊重しご参加いただける方、学内外どなたでも参加できます。

定員：50名 3日前（1月8日）までにお申込みください。

参加費：無料

概要：「キャリアの多様性と社会正義における対話の可能性」をテーマに『プリズン・サークル』を上映し、その後は、参加同士で対話をしながらわちあいます。終了後にアンケートへの回答の協力をお願いします。



お申込み

<https://forms.gle/5bhL9Xe7xoFTykq7>

司会進行：勝又あずさ（教育研究所研究助成 本研究 代表・成城大学キャリアセンター）

主催：勝又あずさ研究グループ

研究課題：「社会正義を志向するライフ・キャリア教育の実践と意義の検討」（2024-2025年度）

本件に関するお問合せ：勝又研究室 katsumata@seiyo.ac.jp 03-3482-9175（研究室直通）

本シンポジウムは成城学園教育研究所の2024年度教育研究助成を受けて実施します。



過熱する犯罪報道、
 厳罰化を叫ぶ声――
 けれど私たちは、この国の
 「罪」と「罰」について
 多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアズ 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ちはだかった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この塙の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ
 今、日本の刑務所が
 変わろうとしている

www.prison-circle.com  prison_circle  fb.com/prison.circle

(C)2019 Kaori Sakagami

日時：2025年1月11日（土）13:00-16:00 開場12:30
会場：成城大学 007教室（7号館4階）東京都世田谷区成城6-1-20
対象：多様性を尊重しご参加いただける方、学内外どなたでも参加できます。
定員：50名 3日前（1月8日）までにお申込みください。
参加費：無料
司会進行：勝又あずさ（教育研究所研究助成 本研究 代表・成城大学キャリアセンター）
主催：勝又あずさ研究グループ

お申込み
<https://forms.gle/5bhL9XeJ7xoFTykq7>

